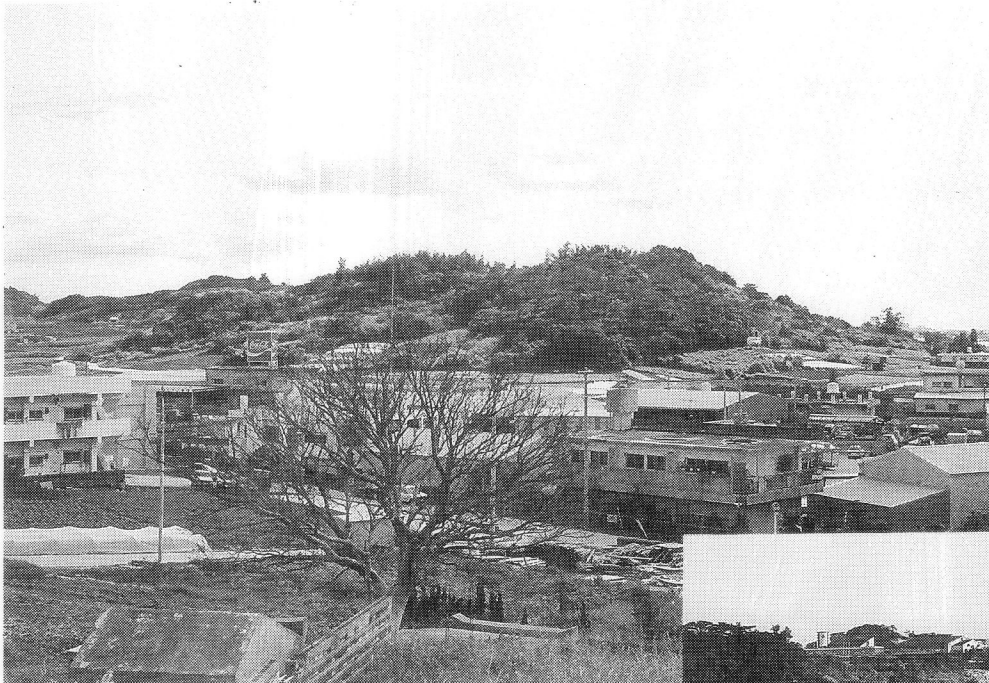
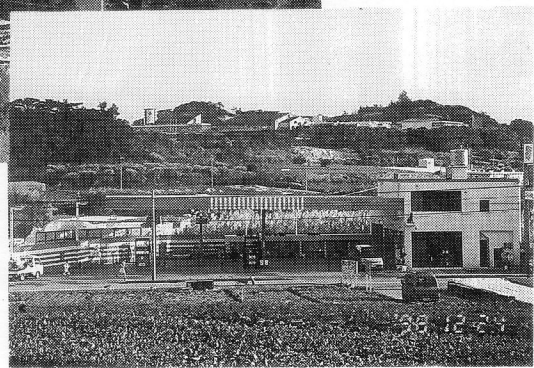


いら はひがしい せき
伊良波東遺跡



発掘前の状況



現在の状況

伊良波東遺跡は伊良波集落の東側、現在の伊良波小・中学校が遺跡になっていました。1985年に同校の建設工事中に発見され、緊急記録保存調査が行なわれています。

調査の結果、複数の建物の「柱穴跡」と思われるものや、火を使用したと思われる「焼土面」が検出され、その他、排水の為と思われる溝状遺構も検出されています。

出土遺物としては土器、青磁、白磁、染付、滑石製品、土錘等の数多くの資料が出土しており、これらの遺物から同遺跡は12世紀初頭から近世までの時期に位置づけられます。また、滑石は県内では産出しないことから直接的、間接的に九州との交流があったことがうかがわれます。

遺跡の西側には近世～近代の遺跡であった「伊良波西遺跡」が存在したが、同遺跡同様工事中に発見された為に緊急記録保存調査が行なわれています。

